



政治のある日常

—古代ローマ共和政末期の社会と言論



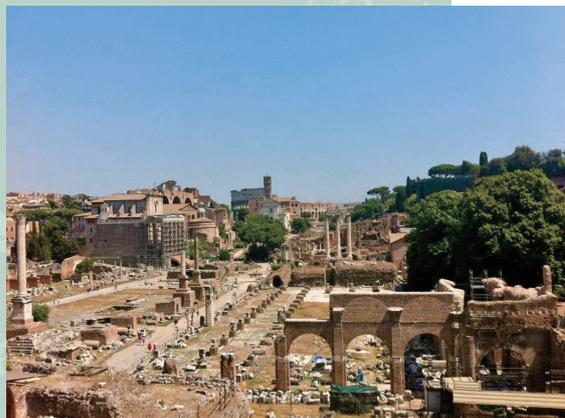
皇帝という単独支配者が出現する直前の古代ローマ共和政末期においては、しばしば激しい権力闘争が生じて、多くの政治的混乱を引き起こし、ついには内戦にすら至るほどでした。その中心にいたのがカエサルやポンペイウスといった政治家たちです。しかし、当時の政治は決して彼らだけのものではありませんでした。その他の人々も、様々な手段を通じて、自分たちの意志を示し、あるいは国政に、あるいは個々の政治家に影響を及ぼすことを試みていました。以上のような様子は、弁論や書簡、詩など、当時記された様々なテキストに見て取ることができます。この公開講座では、そうしたテキストを読み解きながら、当時の社会と言論についてご紹介します。

Schedule

第1回 10 | 5 (土) 「書簡の中の政治」
14:00-16:00 小池 和子 (慶應義塾大学言語文化研究所教授)

第2回 10 | 12 (土) 「詩人と政治—カトゥルスの場合」
14:00-16:00 友井 太郎 (国際基督教大学非常勤講師)

第3回 10 | 19 (土) 「政治集会とその役割」
14:00-16:00 内田 康太 (法政大学文学部専任講師)



会場

慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール

アクセス ● JR山手線・京浜東北線…田町駅下車(徒歩8分)
● 都営地下鉄 浅草線・三田線…三田駅下車(徒歩7分)
● 都営地下鉄 大江戸線…赤羽橋駅下車(徒歩8分)

受講料

無料

参加申込

下記言語文化研究所ウェブサイトもしくはQRコードからお申し込みください。



<http://www.icl.keio.ac.jp/koukaikouza>

*準備の都合により事前申込をお願いしておりますが、事前にお申込みいただかない方の当日参加も可能です。(当日受付にて記名をお願いいたします)

